

日本語研究文献目録 1983～1996 (稿)

——形容詞篇——

安部 清哉・春木 良且 編

1. はじめに

本文献目録は、近年の日本語学の研究書・研究論文のうち、形容詞語彙関係（一部形容語・形容動詞を含む）の刊行図書・雑誌論文で、1983年から1996年までに公表されたものを集め、それらが一覧できるよう、原則として年代順にまとめたものである。

1983年以降としたのは、現在、語彙研究では最新の文献目録となる、

佐藤喜代治編（1983）『講座日本語の語彙 別巻 語彙研究文献語別目録』
（明治書院）

が、1982（昭和57）年のものまでを対象として納めており、それ以降のものを一覧できるようにしたことによる。

論文の目録としては、ほかに、

国語学会・国立国語研究所編（1989）『日本語研究文献目録・雑誌編 フロ
ッピー版』（秀英出版）

があり、そこには1984（昭和59）年までのものが納められているが、やはり1985年以降のデータはない。

その意味で、本文献目録は、形容詞というジャンルに限っていて、かつ、後述のように不完全なところを残すものの、近時14年分に及ぶ日本語学の研究文献目録としては、最新最多のものとなる。

資料としたのは国立国語研究所編『国語年鑑』で、その昭和59年度版（昭和

日本語研究文献目録 1983～1996 (稿)

58年発表のもの)以降1997年度版(同1996年)までを対象とした。各『年鑑』の中の刊行図書と雑誌論文及びそれぞれの補遺篇から、題目及び目次などをも参照し、形容詞関係と考えられたものをすべて抜き出したものである。

今回ここでは、単に各年順に配列してある。ただし、補遺は、『年鑑』の位置のままになっている。なお、ところどころ『年鑑』の順に従っていない部分が残ったことをご了承いただければ幸いである。

機械可読データとしての完成稿の公表は、検索方法の提示と解説を含めて計画中であるが、その公開方法については、関連機関との調整を経た上、科学研究費の報告書([付記]参照)で報告したいと考えている。以上、不備の点など、今後の利用方法を含め、大方のご理解とご批判・ご助言をいただければ幸いである。

[補記]

なお、本稿は、以下の学生によって行われた論文抽出・草稿作成・原稿照合・データ入力などの作業成果(レポート)を基礎資料としている。この作業は、①先行論文の探索方法、②参考文献一覧の作成・提示方法、③『国語年鑑』の利用方法、などの日本語研究の学習を目的として行われたものである。

形式の不統一・誤脱が少なくなく、それらの責任はもとより編者に帰するものであるが、現時点でもその利用価値が少なくないと考えた。2年後の報告書での完成稿を期し、途中報告として利用に供することにした。(稿)とする所以である。

1998年3月大学院博士前期課程修了生

竹村和子(現在、東京ランゲージスクール新宿本校 日本語教育専任講師)

1998年3月ゼミ卒業生(論文抽出・草稿作成。五十音順)

井木あや子、今井純子、大森理恵、檜原朋子、梶さおり、春日真希子、加藤尋子、菊田弘子、菊池麻子、佐久間優子、菅谷貴子、杉原容子、関谷幸加、中嶋 薫、野原響子、平出路子、深澤布由子、山本博子(山本は現在、お茶の水女子大学大学院博士前期課程在籍)

1998年度3年ゼミ生(論文抽出・データ入力・上記草稿との照合。五十音順)

荒木史織、磯野 彩、今井祐子、榎本純子、奥村明子、小山田康子、熊澤美幸、後閑麻子、小島祐子、斎藤真弓、佐藤美緒、園田由香、前田礼奈、森 節子、守永さつき、矢野恵巳、田中裕子(田中はゼミ4年生)、(特に奥村の協力を得た)

日本語研究文献目録 1983～1996 (稿)

[付記]

本稿は、1998年度～2000年度文部省科学研究費補助金基盤研究(C)「日本語形容詞語彙年表作成とその資料・語彙分析における活用法に関する基礎的研究」(研究代表者:安部清哉)による研究成果の一部でもある。

2. 形容詞研究文献目録 (年鑑年代順)

(1) 『国語年鑑』 昭和59 (1984) 年版

蜂矢真郷 (1983) 「ケシ・カシイ・カイ」(同志社国語学研究会編『同志社国語学論集』, 昭和58・5, 和泉書院)

寿岳章子 (1983) 『室町時代語の表現』(昭和58・10, 清文堂出版),

浜田敦(1983)『続朝鮮資料による日本語研究』(昭和58・8 臨川出版), 第3部6, えい・よい・よろしい

東京大文学部 (1983) 『意味分析(東京大文学部言語学研究室国広哲弥編)』(昭和58・6), 第11部コマカイ・チイサイ(御園生保子), 第12部ナニゲナイ・サリゲナイ(福井信子)

萩昌広 (1983) <第2回>食のターミノロジー “形容詞” はじめに / 西尾寅弥(1984)食の感覚を表す形容詞」(柴田武・石毛直道編『食のことば<食の文化フォーラム>』, 昭和58・11, ドメス出版)

松井栄一 (1983) 『国語辞典にない言葉 言葉探しの旅の途上で<叢書・ことばの世界>』(昭和58・4, 南雲堂), 言葉のゆれと語源など 第2部言葉探しの旅の途上で—へどろ・おあいそ・なまあたらしい

北条忠雄 (1983) 『国語文法論叢』(昭和58・9, 明治書院), 第6部万葉集に見える「とほしろし」の考察

国立国語研究所 言語変化研究部第一研究室 (1983) 『方言文法資料図集 (3)』昭和58・1, 国立国語研究所), 121 山が高い (作図・編集—W.A.グロータース・佐藤亮一・真田信治・沢木幹栄・白沢宏枝・飛田良文・吉田則夫)

真田ふみ (1983) 『越中五箇山方言語彙9 形容に関することば』(昭和58・10, 真田ふみ)

山田実 (1983) 『琉球語形容詞の形態論的構造』(昭和58・1, 桜楓社) 第1部ク活用形容

日本語研究文献目録 1983～1996 (稿)

詞の形態 第2部シク活用形容詞の形態 第3部動詞化活用の形態 (三動詞) 第4部形容詞の名詞化と活用形態

中本正智 (1983) 『琉球語彙史の研究』 (昭和58・4, 三一書房) 琉球語の感情語, 形容語

中宗根政善 (1983) 『沖縄今帰仁方言辞典 今帰仁方言の研究・語彙編』 (昭和58・2, 角川書店) 形容詞

佐久間勝彦 (1983) 『日本語教育映画解説20 基礎篇第20課さくらがきれいだそうですー伝聞・様態の表現』 (昭和58・3, 国立国語研究所)

玉村文郎 (1977) 「漢語の形容語彙」 (日本語と中国語対照研究会編 『日本語と中国語の対照研究1』, 昭和52・3, 日中語対照研究会)

奥田寛 (1982) 「形容詞のある性質について」 (同刊行会編 『日本語と中国語の対照研究6』 昭和57・3, 日中語対照研究会)

斎藤倫明 (1983) 「形容詞語幹を語基とする派生語の形態と意味『タカー (高)』の場合を例として」 (『山手国文論巧』 5, 昭和58・3, 神戸山手女子短大)

相原林司 (1983) 「形容詞分類の一試案 派生語形成の可否による」 (『文芸言語研究言語』 8, 昭和58・12, 筑波大)

村上幸江 (1983) 「源氏物語における『あやし』の研究」 (『九州大谷国文』 12, 昭和58・7, 九州大谷短大)

松尾聡 (1983) 「中古最末期から中世前期にわたっての『うつくし』の語意(1)(2)」 (付「ばかり」「生く」補記 (『国語展望』 64, 65, 昭和58年6月, 10月尚学図書)

松尾聡 (1983) 「中古語『おびただし』の語意再考」 (『国語展望』 63, 昭和58・4, 尚学図書)

向井結花 (1983) 「『源氏物語』における『むつかし』について」 (『高知女子大國文』 19, 昭和58・7, 同国語国文学会)

新里博樹 (1983) 「終止形を有する形容詞群の考察」 (『国語研究』 46, 昭和58・1, 国学院大学)

日本語研究文献目録 1983～1996 (稿)

- 今井正 (1983) 「『ない』を伴う形容詞について」(『宇部短大学術報告』20, 昭和58・7, 香川学園・宇部短期大)
- ロザリンド・ソーントン (1983) 「特集－形容詞の連用形のいわゆる副詞的用法」(『日本語学』2-10, 昭和58・10, 明治書院)
- 川戸昌 (1983) 「形容詞の丁寧表現」(『花園大文学論究』11, 昭和58・10,)
- 市井外喜子 (1983) 「『こわい』について」(『大東文化大紀要』21, 昭和58・3)
- 新田春夫 (1983) 「日独対照形容詞研究」(『ドイツ語教育部会会報』24, 昭和58・10日本独文会ドイツ語教育会)
- 岡本順次 (1983) 「日本語とドイツ語における『明るさ』を表す形容詞の意味比較 hell/dunkel, akarui/kurai に付いて」(『ドイツ語教育部会会報』24, 昭和58・10, 日本独文学会ドイツ語教育会)
- 池田祐 (1975～1981) 「『源氏物語』における形容詞用例集(1)～(7)」(『麗沢大学紀要』23～27, 29, 32, 昭和50・7～56・12, 同大学)
- 池田祐 (1982) 「『徒然草』における形容詞用例集(1)(2)」(『麗沢大学紀要』33・34, 昭和57・7～12, 同大学)
- 出口ひずる (1982) 「『なまめく』『なまめかし』考『宇津保物語』を中心に」(『薩摩路』27, 昭和57・12, 鹿児島大学法文学部)
- 河内章 (1981) 「『ゆゆし』の語義とその背景」(『愛知大学国文学』21, 昭和56・3, 同大学)
- 角道正佳 (1982) 「京都方言の動詞と形容詞のアクセント交替」(『日本語・日本文化』11, 昭和57・3, 大阪外語大研究留学生別科)
- 東森勲 (1983) 『Modality を表す形容詞・副詞の語用論的研究』(科学研究費報告書)(昭和58)
- 岩下博 (1983) 『文構成上修飾関係を中心とした語彙指導の研究－児童の表現にみられる形容語』(科学研究費報告書)(昭和58)

日本語研究文献目録 1983～1996 (稿)

(2) 『国語年鑑』 昭和60 (1985) 年版

浜田敦 (1984) 『日本語の史的研究』 (昭和59・8, 臨川書店), 第2部-1 形容詞の仮定法

岸田武夫 (1984) 『国語音韻変化の研究』 (昭和59・12, 武蔵野書院), 第10部「あいなし」の成立

森田良行 (1984) 『基礎日本語3 <角川小辞典8-2>』 (昭和59・10, 角川書店)

松尾聡 (1984) 『源氏物語を中心とした語彙の紛れ易い中古語攷<笠間叢書184>』 (昭和59・10, 笠間書院)

佐藤武義 (1984) 『今昔物語集の語彙と語法』 (昭和59・5, 明治書院), 第3部今昔物語集の形容詞語彙

宇田零雨 (1984) 『芭蕉語彙』 (昭和59・2, 青土社),

長田久男 (1984) 『国語連文論』 (昭和59・5, 和泉書院) 第5部形容詞の連文的職能

山崎馨 (1984) 「形容詞とは何か」 (鈴木一彦・林巨樹編 『研究資料日本文法3用語編(2) 形容詞・形容動詞』, 昭和59・10, 明治書院)

山口佳紀 (1984) 「形容詞の活用」 (")

飯田晴巳 (1984) 「形容詞研究の歴史」 (")

桜井光昭 (1984) 「形容詞の諸問題」 (")

日野資純 (1984) 「方言の形容詞」 (")

中山緑朗 (1984) 「<資料1> 近世以前の形容詞・形容動詞研究抄」 (")

中山緑朗 (1984) 「<資料3> 形容詞・形容動詞研究文献一覧」 (")

山口仲美 (1984) 『平安文学の文体の研究』 (昭和59・2, 明治書院), 第1部-2 仮名文学と形容詞形容動詞

日本語研究文献目録 1983～1996 (稿)

名嘉真三成 (1984) 「宮古西原方言の形容詞」(平山輝男博士古稀記念会編『現代方言学の課題2』, 昭和59・1, 明治書院)

内間直 (1984) 『琉球方言文法の研究』(昭和59・2, 笠間書院), 第3部形容詞—形容詞活用の通時的考察・形容詞活用の記述的研究

福沢武一 (1983) 『ずくなし 上伊那の方言 下』(昭和58・10, 伊那毎日新聞社)

中道知子 (1984) 「形容詞の諸特性」(同協会技術センター編『ソフトウェア文書のための日本語処理の研究5 計算機用レキシコンのために<情報処理振興事業協会>, 昭和58・12, 私家版)

秋元美晴 (1984) 『現代形容詞の語構成の特質(1) 複合形容詞を中心として』(昭和59・3, 緑岡詞林)

蜂矢真郷 (1984) 『重複形容詞と重複形容動詞』(昭和59・3, 同志社国文学)

羅国忠 (1984) 「はずかしい」と「きまりが悪い」と「てれくさい」について」(昭和59・6, 教育国語)

陳俊森 (1984) 「“ふとい／ほそい”, “あらい／こまかい” 和語 “粗／細” 概念的対応」(『語研究』昭和59・9, 日本語学研究)

池田裕 (1984) 『「徒然草」における形容詞用例集(5)(6)』(昭和59・7, 麗沢大学紀要37, 38)

松島典雄 (1984) 『昭和期の流行歌の歌詞にみられる感情形容詞の一考察「かなしい」について』(昭和59・9, 国語国文学)

金子真理子 (1984) 『道綱母の兼家観「あさまし」を中心に』(昭和59・6, 平安文学研究)

福島邦道 (1984) 『徒然草の「身を守るにまどし」』(昭和59・3, 実践国文学)

高橋貢 (1984) 『『今昔物語集』の「微妙シ」と「貴シ」(上)』(昭和59・9, 専修国文)

寺山秀夫 (1984) 「形容詞の働きには何がひそんでいるか」(『特集・ことばの謎—現代語文法のなぞ』, 昭和59・5, 国文学<学燈社>)

日本語研究文献目録 1983～1996 (稿)

佐藤浩平 (1984) 『万葉集の「なかなか」の抑揚性と「ずは」語法に関する試論』(昭和59・9, 解釈)

小久保崇明 (1984) 『「いま一所の女君こそはいたはなはだしく心うき御有様にておはすめれ」考「いとはなはだしく」などの性格』(昭和59・8, 解釈)

板坂元 (1984) 「形容詞—近代意識がかき消す呪術性(『特集・「日英語・危険な関係」研究』, 昭和59・7, 翻訳の世界)

毛利可信 (1984) 「形容詞についての翻訳文法」(")

鈴木孝夫 (1984) 「文化の差異を映す形容詞の妙」(")

吉田正俊 (1984) 「女性をめぐる形容詞」(")

宮本亜紀子 (1983) 『「万葉集」に於ける形容詞 ク活用 シク活用形容詞の用法上の相違点』(昭和58・12, 国文橋)

高橋俊三 (1983) 『「おもしろさうし」の助詞「ちよ」について』(昭和58・12, 沖縄国際大文学部紀要国文学)

(3) 『国語年鑑』 昭和61 (1986) 年版

安藤享子 (1985) 「枕草子考『いみじ』の表現から」(和洋女子大学編刊『学部創設三十五周年記念論文集』, 昭60・3)

森田武 (1985) 『室町時代語論攷』(昭60・5, 三省堂), 三. 語彙, 1 「さもしい」考

鈴木丹士郎 (1985) 「馬琴の文語 形容詞カリ活用の場合」(鈴木丹士郎編『論集日本語研究』14, 近世語, 昭60・4, 有精堂)

平沢洋一 (1985) 『意味の世界と日本語』(昭60・4, 桜楓社) 5 形容詞語彙

橋浦兵一 (1985) 『作家の育てたことば 近代文学の主題語<叢書・ことばの世界>』(昭60・5, 南雲堂) 三, 3 「母なる川」のほとり 「早し」と「涼し」

松井栄一 (1985) 『続・国語辞典にない言葉 ことばの姿さまざま<叢書・ことばの世界>』

日本語研究文献目録 1983～1996 (稿)

(昭60・8, 南雲堂) 現代語の動詞・形容詞の一面

松浦照子 (1985) 「複合形容詞の形成と継承 平安時代散文作品における」(国語語彙史研究会編『国語語彙史の研究』6, 昭60・10, 和泉書院)

神尾暢子 (1985) 『王朝語彙の表現機構<新典社研究叢書13>』(昭60・10, 新典社), 付録(2) 複合形容詞の構成と表現

青島徹 (1985) 『平安文学語法論<笠間叢書186>』(昭60・2, 笠間書院) 一, 5 「童のをかしき」という語法

飯塚書店編集部 (1985) 『短歌常用語辞典 形容詞・形容動詞編』(昭60・7, 飯塚書店)

柳沢好昭 (1984) 「後接辞による『な形容詞』の分類 特に『な』『の』のつき方から見て」(国立国語研究所日本語教育センター編刊『日本語教育論集1<日本語教育長期専門研修昭和58年度報告>』, 昭59・10)

工藤力男 (1985) 「語音構造から見た形容詞, もう一つの問題」(『岐阜大学国語国文学』17, 昭60・3)

井上正明, 小林利宣 (1985) 「<資料>日本におけるSD法による研究分野とその形容詞対尺度構成の概観」(『教育心理学研究』33-3, 昭60・9)

福田昆之 (1985) 「日本語の否定辞とク活用形容詞の起源」(『言語と言語学』25, 昭60・6)

福田昆之 (1985) 「ク語法の起源, ク活用形容詞の起源, シク活用形容詞の起源, 先号のふたつの論考の補正」(『言語と言語学』26,27, 昭60・6)

細川英雄 (1985) 「現代日本語の温度形容詞について」(『信州大学教育学部紀要』53, 昭60・3)

玉村文郎 (1985) 「特集・形容詞・形容動詞——形容語の世界」(『日本語学』4-3, 昭60・3)

西尾寅弥 (1985) 「特集・慣用句——形容詞慣用句」(『日本語学』4-1, 昭60・1)

入江湊 (1985) 「コトヨサシの解義」(『皇學館論叢』18-2, 昭60・4)

日本語研究文献目録 1983～1996 (稿)

松尾聡(1985)「<中古語雑感>語義さぐりそぞろ言『うつくし』の場合」(『日本語学』4-11, 昭60・6, 講談社)

松尾聡(1985)「栄花物語の『うつくし』の用例検討(1)」(『国語展望』71, 昭60・11)

松尾聡(1985)「栄花物語の『おもしろし』『ほほゑむ』『ゑむ』の用例検討(1)」(『国語展望』70, 昭60・6)

野田浩子(1985)「『さやけし』の周辺<清なる自然>試論(2)」(『古代文学』24, 昭60・3)

山田永(1985)「『遠し』に見られる古代人の時間と空間」(『明治大学日本文学』13, 昭60・7)

石原奈緒美(1985)「『をさなし』について」(『高知女子大國文』21, 昭60・10)

石剛(1985)「<類義語研究>“没関係”在日語中的表達——困□“さしつかえない”“かまわない”和“大丈夫だ”」(『日語学習與研究』30, 昭60・5)

張国祥(1985)「<類義語研究>關於“よろしい”“いい”“よい”和“けっこう”」(『日語学習與研究』32, 昭60・9)(張国祥～中国語簡体字で表記)

高橋貢(1985)「『今昔物語集』の『微妙シ』と『貴シ』(下)」(『専修国文』36, 昭60・2)

森野宗明(1985)「特集・形容詞・形容動詞——形容詞の変遷」(『日本語学』4-3, 昭60・3)

安部清哉(1985)「温度形容語彙の歴史 意味構造から見た語彙史の試み」(日本文芸研究会『文芸研究』108, 昭60・1)

松浦照子(1985)「平安文学における形容詞語彙対照表 形容詞語彙史の基礎的研究」(『名古屋短期大学研究紀要』23, 昭60・5)

小島幸枝(1985)「キリシタン資料の語彙(3) 形容詞の翻訳『スピリツアル修行』の原典との対校における」(『独協大学教養諸学研究』20, 昭60・9)

三好美智子(1985)「今昔物語集の形容詞」(『香川大学国文研究』10, 昭60・9)

日本語研究文献目録 1983～1996 (稿)

池田裕 (1985) 「『徒然草』における形容詞用例集 (7), (8)」 (『麗沢大学紀要』39,40, 昭60・7,60・12)

小谷博泰 (1985) 「学校文法と接尾用言『書きヤスイ』『美しスギル』をめぐって」 (『水門』14, 昭60・1)

永野賢 (1985) 「特集・形容詞・形容動詞——用言論における形容語 動詞と形容詞, 形容詞と形容動詞」 (『日本語学』4-3, 昭60・3)

小矢野哲夫 (1985) 「特集・形容詞・形容動詞——形容詞のとり格」 (『日本語学』4-3, 昭60・3)

沖森卓也 (1985) 「特集・形容詞・形容動詞——形容詞の成立」 (『日本語学』4-3, 昭60・3)

川口明美 (1985) 「『らし』『らしい』『らしさ』の系譜」 (『立正大学国語国文』21, 昭60・3)

鈴木義和 (1985) 「万葉集における『形容詞連用形+思ふ』『ミ語形+思ふ』との関係など」 (『解釈』31-4, 昭60・4)

佐々木かほり (1985) 「『更級日記』研究 その『いみじ』と『月』の語をめぐって」 (『東洋大学短期大学論集日本文学』21, 昭60・3)

坂詰力治 (1985) 「『御伽草子』の美的表現 うつくし・いつくしをめぐって」 (『日本語学』4-12, 昭60・12)

小松聡子 (1985) 「巖谷小波の児童文学作品の文体について 品詞による分析」 (『国文』63, 昭60・12)

竹端瞭一 (1985) 「雪かが一ぼて 新発田方言の形容詞」 (『聖徳学園岐阜教育大学国語国文学』4, 昭60・2)

太田有多子 (1985) 「西加茂郡・東加茂郡及びその周辺地域における語の伝播について 『前庭』『馬鈴薯』『まぶしい』」 (『椋山国文学』9, 昭60・3)

深沢忠孝 (1985) 「特集・形容詞・形容動詞——表現教育と形容語」 (『日本語学』4-3, 昭60・3)

日本語研究文献目録 1983～1996 (稿)

中富千恵子(1985)「聴覚障害児の形容詞の理解について」(『ろう教育科学』27-2, 昭60・7)

荒川清秀(1985)「特集・形容詞・形容動詞——形容詞の対象研究 日本語と中国語 中国語の感情(感覚)形容詞について」(『日本語学』4-3, 昭60・3)

柴田紀男(1985)「特集・形容詞・形容動詞——形容詞の対象研究 日本語とインドネシア語」(『日本語学』4-3, 昭60・3)

鈴木英一(1985)「特集・形容詞・形容動詞——形容詞の対象研究 日本語と英語」(『日本語学』4-3, 昭60・3)

川口順二(1985)「特集・形容詞・形容動詞——形容詞の対象研究 日本語とフランス語」(『日本語学』4-3, 昭60・3)

福田昆之(1984)「日本語の品詞分け」(『言語と言語学』13, 昭59・11)

(4) 『国語年鑑』 1987年版

吉田啓(1986)「ホフマンの日本文法研究における『形容詞』 何を『形容詞』とし、その品詞をいかに考えたか」(同刊行会編『築島裕博士還暦記念国語学論集』, 昭和61・3, 明治書院)

鈴木英夫(1986)「『形容動詞』をめぐる二、三の問題」同刊行会編『築島裕博士還暦記念国語学論集』, 昭和61・3, 明治書院)

吉田啓(1986)「ホフマンの『形容詞』論と『現在のシ』」(同刊行会編『松村明教授古稀記念国語研究論集』, 昭和61・10, 明治書院)

梅野きみ子(1986)「『なまめく』『なまめかし』考 『古今和歌集』『伊勢物語』『宇津保物語』から『枕草子』へ」(同刊行編『松村博司先生喜寿記念国語国文学論集』, 昭和61・11, 右文書院)

武山隆昭(1986)「源氏物語を中心とした『うつくし』の語義新攷」(同刊行編『松村博司先生喜寿記念国語国文学論集』, 昭和61・11, 右文書院)

高橋太郎(1986)「形容詞のテンスについて」(宮地裕編『語集日本語研究1 現代編』, 昭

日本語研究文献目録 1983～1996 (稿)

和61・11明治書院)

佐伯梅友 (1986) 「動詞・形容詞」(『万葉集大成 6 言語篇』, 昭和61・6, 平凡社)

秦澄美枝 (1986) 『八代集品詞使用後頻度・順位表』(昭和61・6 私家版), (1) 名詞・形容詞・形容動詞編

中道知子 (1986) 「形容詞をめぐる二, 三の問題について」(情報処理振興事業協会編刊『ソフトウェア文書のための日本語処理の研究 7 計算機用レキシコンのために (2)』)

邱銀娥 (1986) 「日語的音調 形容詞音調的帰納」(『科技日語』 5, 昭和61・1)

矢島正浩 (1986) 「近松世話浄瑠璃における形容詞連用形のウ音便化について」(『国語学』 147, 昭和61・12)

松永一枝 (1986) 「古今集声点本における形容詞のアクセント」(『国語学研究』88, 昭和61・3, 早稲田大学)

夏井邦男 (1986) 「『万葉集』における形容詞の表記について」(『北海道教育大学紀要』1A36-2, 昭和61・3)

夏井邦男 (1986) 「万葉集の形容詞語尾の表記について」(『函館国語』 2, 昭和61・11)

樋口文彦 (1986) 「形容詞からの派生名詞」(『教育国語』 84, 昭和61・3)

細川英雄 (1986) 「風は寒いか冷たいか 温度形容詞とその用法について」(『国語学研究と資料』 10, 昭和61・12)

河原寛 (1986) 「ある種の形容詞語幹について」(『園田学園女子大学論文集』 20, 昭和61・3)

王洋 (1986) 「日語中的評界价形容詞」(『日語学習与研究』 37, 昭和61・7)

磯部記久子 (1986) 「『うつくし』少考」(『東横国文学』 18, 昭和61・3)

松尾聡 (1986) 「源氏物語などの『うつくし』の語意について」(『国文学解釈と鑑賞』 51-7, 昭和61・7)

日本語研究文献目録 1983～1996 (稿)

- 松尾聡 (1986) 「栄花物語の『うつくし』の用例検討 (2) (『国語展望』72, 昭和61・3)
- 松尾聡 (1986) 「栄花物語の『みじかし』『ささめく』の用例検討 (承前終結)・中古における『びびし』の語意 (1) (『国語展望』73, 昭和61・6)
- 松尾聡 (1986) 「中古・中世における『びびし』の語意 (2) (『国語展望』74, 昭和61・11)
- 長尾勇 (1986) 「しははゆし考」(『語文』66, 昭和61・6, 日本大学)
- 東郷吉男 (1986) 「中古・中世の『びびし』」(『京都教育大学国文学会誌』21, 昭和61・11)
- 照井寛子 (1986) 「形容詞『高し』とその類義語・対義語をめぐって」(『共立女子大学文学部紀要』32, 昭和61・2)
- 張濟郷 (1986) 「『類義語研究』“素晴らしい”, “立派”, “和”, “見事”的意義和区別」(『日語学習与研究』35, 昭和61・3)
- 張濟郷 (1986) 「『類義語研究』“嬉しい, 楽しい, 快い, 愉快”的意義和区別」(『日語学習与研究』38, 昭和61・9)
- 蜂矢真郷 (1986) 「重複形容詞の別形態」(『叙説』12, 昭和61・3)
- 坂詰力治 (1986) 「御伽草子の形容詞について その語彙史的返還の過程を踏まえて」(『文学論藻』60, 昭和61・2)
- 小野美智子 (1986) 「『和泉式部日記』における『をかし』の考察」(『平安文学研究』76, 昭和61・12)
- 中村一夫 (1986) 「源氏物語の形容詞 その文学的考察」(『国語年誌』5, 昭和61・10)
- 北原保雄 (1986) 「QA 文法セミナー (1)～(3) 主語に『が』『の』が付く文の言い切りは連体形か?, 非情物は受身の主語になれないか?, 助動詞はなぜ形容詞に接続しにくいのか?」(『国語教室』27～29, 昭和61・2, 6, 10)
- 北村よう (1986) 「形容語を使った連体修飾について」(『言語・文化研究』4, 昭和61・3, 東京外語大大学院)
- 冷鉄鋭錚 (1986) 「形容詞的概念和分類」(『日語学習与研究』37, 昭和61・7)

日本語研究文献目録 1983～1996 (稿)

谷部弘子 (1986) 「話しての評価を担う形容詞」(『日本語学』 5-11, 昭和61・11)

大谷伊都子 (1986) 「特集・接辞—～たらしい, ～がましい」(『日本語学』 5-3, 昭和61・3)

花山愛治 (1986) 「古典語の形容詞」(『研究会報告』 7, 昭和61・3, 日本語文法研究会)

小島繁一 (1986) 「源氏物語テキストの編集句 鍵語としての『ためし』」(『同志社国文学』 27, 昭和61・3)

松本泰丈 (1986) 「特集・古典文法をみなおす—古典語文法と方言文法 形容詞の語形のタイプから喜界島方言のばあい」(『国文学解釈と鑑賞』 51-8, 昭和61・8)

名喜真三成 (1986) 「琉球方言の形容詞」(『琉球大学教育学部紀要』 29-1, 昭和61・2)

山本建雄 (1986) 「統合的關係を基にした語彙指導の試み 情緒的形容詞を中心にした場合」(『国語科教育』 33, 昭和61・3)

美尾浩子 (1986) 「日英語の品詞分類について英語の形容詞と日本語の形容詞・形容動詞を中心に」(『静岡女子大学研究紀要』 19, 昭和61・3)

鄭萍 (1986) 「中日両言語における形容詞の『状語』的用法について」(『日本語教育研究論纂』 2, 昭和61・5)

(5) 『国語年鑑』 1988年版

坂詰力治 (1987) 「接頭語『御』を冠した形容詞の敬讓表現について御伽草子を中心として」(近代語学会編『吉田澄夫博士領寿記念論文集 近代語研究7』 昭和62・2, 武蔵野書院)

和田利政 (1987) 「形容詞の機能」(山口明穂編『国文法講座2 古典解釈と文法 活用語』 昭和62・4, 明治書院)

古田啓 (1987) 「ク活用とシク活用」(山口明穂編『国文法講座2 古典解釈と文法 活用語』 昭和62・4, 明治書院)

瀬戸口俊治 (1987) 「薩隅地方方言の方言地理学的研究<い>語尾<か>語尾<さ>語尾の分布とその解釈」(同刊行会編『南九州方言の研究』 研究叢書54, 昭和62・10, 和泉書院)

日本語研究文献目録 1983～1996 (稿)

天野清一代表「第7部精神発達遅滞児に対する名詞述語構文及び形容詞の二次元的統合についてのプログラム」『精神発達遅滞児の言語教育プログラムの開発に関する実験教育的研究』(科学研究費報告書)(昭和61)

小矢野哲夫(1979)「第3部形容詞文の格 特に『二格』をとるものについて」『格表現の対照研究 日本語教育のために』(昭和54・3, 大阪外国語大学留学生別科)

寺村秀夫, 小矢野哲夫(1979)「第4部動詞文・形容詞文対照例文集」『格表現の対照研究 日本語教育のために』(昭和54・3, 大阪外国語大学留学生別科)

佐藤信夫(1987)「<言語時評>名詞句化成, 形容語転移, 限定語反転, 代換」(『言語生活』422～425, 昭和52・1～4)

西田隆政(1987)「平安朝仮名文学の感温規定語『あたたか』をめぐって」(『文学史研究』28, 昭和62・12)

山口豊(1987)「程度を表す語について いと・いたく・いみじく(枕草子を中心に)」(『独創』1, 昭和62・3)

松尾総(1987)「中古語『うつくし』の語意に関する卑見御批判について(1)～(3)」(『国語展望』75～77, 昭和62・2,5,10)

三宅清(1987)「『けしからず』と『けしうはあらず』」(『國學院大学大学院紀要文学研究科』18, 昭和62・3)

渡辺実(1987)「清少納言の不快経験『すさまじ』とその周辺」(『ソフィア』36-1, 昭和62・4)

北村英子(1987)「『枕冊子』における『ゆかし』の考察」(『樟蔭国文学』24, 昭和62・3)

石神照雄(1987)「動詞文・形容詞文の構造と文の質」(『国語学研究』27, 昭和62・12)

高市和久(1987)「形式的な名詞述語文」(『国語学研究』27, 昭和62・12)

平野尊識(1987)「発話と話者の主観的部分 形容詞の意味と用法に関連して」(『九大言語学研究室報告』8, 昭和62・3)

増井典夫(1987)「形容詞終止連体形の副詞的用法『えらい』『おそろしい』を中心に」(『国

日本語研究文献目録 1983～1996 (稿)

語学研究』27, 昭和62・12)

鈴木丹士郎 (1987) 「形容詞両活用 (ク活・シク活) についての覚書き (前)」(『専修国文』40, 昭和62・1)

蜂矢真郷 (1987) 「アキラケシイ ケシ・カシイ・カイ続考」(『帝塚山学院大学日本文学研究』18, 昭和62・2)

福田昆之(1987) 「日本語動詞活用の起源 日本語の否定辞とク活用形容詞の起源」(『言語と言語学』36, 昭和62・8)

佐藤正義 (1987) 「栄華物語の文法的考察 (8) 形容詞『一なく』形式について」(『相模女子大学紀要』50, 昭和62・3)

加藤孝男 (1987) 「近代短歌における感情語『かなし』『さびし』の歴史的考察」(『中京国文学』6, 昭和62・3)

真庭美津江 (1987) 「愚管抄の感覚 形容詞を中心にして」(『日本文学論叢』12, 昭和62・3)

十川信介 (1987) 「特集・文学文法—謎躰の形容詞『浮雲』初篇の比喩」(『日本語学』6—11, 昭和62・11)

高田由美(1987) 「言語と非言語の関連について 形容詞のもつ非言語的表象についての考察(1)直線的線型表現を刺激とした場合」(『聖心女子大学論叢』69, 昭和62・6)

中川正之 (1987) 「特集・対象研究の諸側面—中国語と日本語の形容詞意図と結果」(『日本語学』6—10, 昭和62・10)

鈴木義昭(1987) 「日中形容詞の対照 連用修飾作用をめぐって」(『早稲田大学語学教育研究所紀要』34, 昭和62・3)

大里康弘(1987) 「空間の量を表す形容詞について 日本語ポルトガル語を対照して」(『九大言語学研究室報告』8, 昭和62・3)

東矢頼子 (1959) 「『あはれ』と『をかし』の一考察」(『熊本女子大学国文研究』4, 昭和34・5)

汐崎町子 (1980) 「『あひなし』についての考察 源氏物語を中心として」(『熊本女子大学

日本語研究文献目録 1983～1996 (稿)

国文研究』26, 昭和55・10)

大財友子(1966)「源氏物語における『らうたし』」(『熊本女子大学国文研究』12, 昭和41・11)

大村龍子(1961)「万葉集に於ける所謂形容詞のかり活用について 人麿作歌及び人麿歌集歌を中心として」(『熊本女子大学国文研究』6, 昭和36・4)

「日本語の類義語『きれいだ』『美しい』『麗しい』の異同と中国語『漂亮』『美麗』」(1986) (『徳島文理大学比較文化研究所年報』3, 昭和61・7)

Oritani, Kaoru: Contrastive study of Japanese and English (2) Contrastive morphology of adverbs, adjectives and the other parts of speech; and some aspects of contrastive lexicology. (1987) (『鳴門教育大学研究紀要人文・社会』2, 昭和62・3)

(6) 『国語年鑑』 1989年版

馬淵和夫(1988)「かわいい 愛と美を表す言葉」(『奈良・平安ことば百話 <東京美術選書67>』, 昭和63・9, 東京美術)

今津藤一ほか(1988)「形容詞活用形の深層アクセント形式」(日本音声学会編刊『音声の研究22 1988 The Study of Sounds』, 昭和63・12)

井口樹生(1988)『知っているようで知らない日本語5 身近な言葉の意外な意味動詞・形容詞編 <ゴマボックス>』(昭和63・6, ごま書房)

藍美喜子(1988)「源氏物語における『あはれ』の偏在」(国語語彙史研究会編『国語語彙史の研究9』, 昭和63・11, 和泉書院)

佐藤定義(1988)『棠花物語の文法的研究』(昭和63・6, 明治書院), 第6章形容詞の考察 多種成分構成の詩・

細川英雄(1988)「現代日本語形容詞語彙一覧稿」(『金沢大学教養部論集人文』25-2, 昭和63・2)

村田菜穂子(1988)「形容詞化接尾辞 ～ハシ・～マシについて」(『甲南国文』35, 昭和63・3)

日本語研究文献目録 1983～1996 (稿)

- 増井典夫 (1988) 「形容詞『えらい』の出自と意味の変換」(『文芸研究』117, 昭和63・1, 日本文芸研究会)
- 嶋村祐子 (1988) 「『だるい』『かったるい』の意味について」(『昭和学院国語国文』21, 昭和63・3)
- 松尾聡 (1988) 「『とはす語り』の『おびただし』『おもしろし』『うつくし』『そらおそろし』の語意検討」(『国語展望』78, 昭和63・2)
- 松尾聡 (1988) 「源氏物語の用例を中心とした『つきづきし』の語意検討・」(『国語展望』80, 昭和63・10)
- 小野美智子 (1988) 「『和泉式部日記』における『はかなし』『つれづれ』の考察」(『平安文学研究』79・80, 昭和63・10)
- 松尾聡 (1988) 「『びびし』再考」(『国語展望』79, 昭和63・5)
- 北村英子 「『源氏物語』における『ゆかし』の考察・」(『大阪樟陰女子大学論集』25,, 昭和63・3)
- 北村英子 「『源氏物語』における『ゆかし』の考察・」(『樟陰国文学』25, 昭和63・3)
- 増井典夫 「江戸語における形容詞『いかい』とその衰退について」(『国文学研究』28, 昭和63・12)
- 井上博嗣 (1988) 「『いとどし』・『いとど』の比較的高度の示し方について」(『女子大国文』103, 昭和63・6)
- 井上博嗣 (1988) 「古代語『すこし』の低度の示し方について」(『女子大国文』104, 昭和63・12)
- 古瀬順一 (1988) 「『日蓮消息文』の形容詞語彙『源氏物語』『平家物語』『宇治拾遺物語』『増鏡』『義経紀』との比較において」(『国語国文報』46, 昭和63・3)
- 鈴木丹士郎 (1988) 「現代短歌に見られる形容詞の用法 補助活用の本活用化」(『専修国文』43, 昭和63・9)
- 木下書子 (1988) 「『あり』による形容詞への時間性導入について」(『国語国文学研究』24,

日本語研究文献目録 1983～1996 (稿)

昭和63・9, 熊本大学)

今野真二(1988)「大山祇神社連歌にみえるカリ活用形容詞について」(『松蔭女子短期大学紀要』4, 昭和63・12)

竝木崇康(1988)「特集・複合語—複合語の日英対照 複合名詞・複合形容詞」(『日本語学』7-5, 昭和63・8)

江端義夫(1987)「『早く』(形容詞連用形)の方言分布 中部日本地方域の方言について」(『広島大学教育学部紀要』2-36, 昭和62・12)

(7) 『国語年鑑』 1990年版

荒正子(1989)「形容詞の意味的なタイプ」(言語学研究会編『ことばの科学3 <言語学研究会の論文集3> [奥田靖雄古希記念論文集]』, 平成元・11, むぎ書房)

まつもとひろたけ(1989)「6活用体系のとらえかた 喜界島方言の形容詞」(中森義宗, 上村保子編『美とかたち [千葉大学教養部論文集]』, 平成元・12, 東信堂)

筒井ゆみ子(1989)「源氏物語に見る人妻の拒否のあり方 形容詞アサマシの意味から」(同刊行会編『日本研究 言語と伝承 大野晋先生古希記念論文集』, 平成元・12, 角川書店)

丸田忠雄(1989)「英語と日本語における動詞派生の形容詞について」(山形大学編『人文学系諸領域における映像データと文字データの総合的処理<昭和63年度教育研究会内特別経費報告書>』, 平成元・6, 山形大学)

笠松宏至(1989)「なりからし」(綱野善彦, 笠松宏至, 勝俣鎮夫, 佐藤進一編『ことばの文化史 中世2』, 平成元・1, 平凡社)

近藤政美(1989)『中世国語論考<研究叢書70> [中世国語に関する既発表の論文を基にして構成したもの]』(平成元・6, 和泉書院), 第三部 平家物語に関して 1 鎌倉時代における形容詞の敬讓表現をめぐって

沢田正子(1989)「蜻蛉日記の「をかし」」(国語語彙史研究会編『国語語彙史の研究10』, 平成元・12, 和泉書院)

梅野きみ子「王朝美的思考の『なまめかし』美を中心として 藤壺から紫上へ」(国語語彙

日本語研究文献目録 1983～1996 (稿)

史研究会編『国語語彙史の研究10』, 平成元・12, 和泉書院)

佐伯哲夫 (1989) 「動詞性述語と形容詞性述語」(北原保雄編『講座日本語と日本語教育 4 日本語の文法文体 上』, 平成元・3, 明治書院)

森田良行 (1989) 『日本語をみかく小事典 形容詞副詞編<講談社現代新書>』(平成元・10, 講談社)

李男徳 (1985) 『韓国語語源研究 3 形容詞語彙 語源』(昭和60・12, 梨花女子大學校出版部)

福田昆之 (1989) 「出動動詞と出動形容詞」(平成元・9, 『言語と言語学48』)

沖洋子 (1989) 「形容詞の文体的意味」(平成元・1, 『国文学 (関西大学) 65』)

沖洋子 (1989) 「形容詞における口語と俗語」(平成元・10, 『花園大学国文学論究17』)

蜂矢真郷 (1989) 「形容詞語幹+カ・ヤカ・ラカ」(平成元・3, 『奈良女子大学文学部研究年報32』)

林浩恵 (1989) 「形容詞ウルサシ・ウルセシ考」(平成元・10, 『叙説16』)

金子真理子 (1989) 「『蜻蛉日記』にみる「おぼつかなし」「はかなし」について」(平成元・3, 『字部国文研究20』)

増井典夫 (1989) 「近世後期における形容詞「きつい」の意味・用法とその勢力について」(平成元・12, 『淑徳国文31』)

磯部佳宏 (1989) 「形容詞「たいだいし」の性格『我身にたどる姫君』の用例をめぐって」(平成元・12, 『国語学 研究と資料13』)

松尾聡 (1989) 「源氏物語の用例を中心とした「つきづきし」の語彙検討(2)～(4)」(平成元・1・4・10, 『国語展望81～83』)

中西宇一 「「はしたなし」の意味 その心情性と状態性」(平成元・12, 『女子大國文106』)

篠田陽子 (1989) 「文正草子にみる「めでたし」の位相」(平成元・3, 『昭和学院国語国文 22』)

日本語研究文献目録 1983～1996 (稿)

北村英子 (1989) 「『源氏物語』における「ゆかし」の考察 (3)」 (平成元・3, 『樟蔭国文学26』)

細川英雄 (1989) 「現代日本語の形容詞分類について」 (平成元・9, 『国語学158』)

鈴木丹士郎 (1989) 「現代短歌に見られる形容詞の一類」 (平成元・2, 『専修国文44』)

赵福泉 (1989) 「感情形容詞与感情動詞的語法特征」 (平成元・1, 『日語学习与研究52』)

重見一行 (1989) 「形容詞連用修飾における助動詞とのかかわり 中古ボイス助動詞の場合」 (平成元・11, 『富山大学国語教育14』)

彦坂佳宣 (1989) 「東海西武地域における形容詞連用形音便の境界 愛知県方言の分布と歴史ノート (5)」 (平成元・6, 『名古屋・方言研究会会報6』)

李志華 (1989) 「日本語の「温かい」「暖かい」の使い分けと中国語」 (平成元・5, 『旭川国文5』)

赵博源 (1989) 「<漢語与日語比較研究>漢日形容詞比較」 (平成元・1, 『日語学习与研究52』)

前田洋文 (1989) 「日本語形容詞・形容動詞などとそれに対応する英語表現との比較 英作文指導に関連して」 (平成元・3, 『群馬大学教育学部紀要人文・社会38』)

桜井茂治 (1989) 「日本語アクセント成立論 (1) 形容詞のアクセントができるまで」 (昭和60・3, 『国立音楽大学研究紀要18』)

楊凱榮 (1989) 「「XがYヲZニスル」構文と「XガYヲZニサセル」構文との異同について Zが形容詞の場合」 (昭和61・5, 『言語学論叢5』)

(8) 『国語年鑑』 1991年版

鈴木丹二郎 (1990) 「近世に見られる形容詞の一種」 (近代語学会編『近代語研究8 吉田澄夫博士追悼論文集』, 平成2・9, 武蔵野書院)

細川英雄 (1990) 「感情形容詞の連用修飾用法について」 (近代語学会編『近代語研究8 吉田澄夫博士追悼論文集』, 平成2・9, 武蔵野書院)

日本語研究文献目録 1983～1996 (稿)

吉田光浩 (1990) 「平安期和文形容詞の活用分析 因子分析の応用試験」(国語語彙史研究会編『国語語彙史の研究11』, 平成2・12, 和泉書院)

田中稔子(1990)『田中稔子の日本語の文法 教師の疑問に答えます 基礎編 <6>形容詞』(平成2・3, 近代文芸社)

真田信治;尾崎喜光 (1990) 「十津川流域における3モーラ名詞・動詞・形容詞アクセントの分布と変化」(徳川宗賢編『方言音調の諸相 西日本(1) 「日本語音声における韻律的特徴 西日本における音声の収集と研究」研究成果報告書』, 平成2・3)

杉村孝夫 (1990) 「<4>動詞・形容詞の活用」(国学院大学日本文化研究所編刊『琉球竹富島の方言 黒潮文化圏の言語研究<国学院大学日本文化研究所プロジェクト成果報告>』)

清沢美恵 (1990) 「<1>形容詞語幹+ガルの文型」(情報処理振興事業協会『ソフトウェア文書のための日本語処理の研究10 IPAL<Basic Adjectives>をめぐって』, 平成2・9, 情報処理振興事業協会技術センター)

情報処理振興事業協会 (1990) 『計算機用日本語基本形容詞辞書 IPAL<Basic Adjectives>辞書編 上あ～し, 下す～わ』(平成2・7, 情報処理振興事業協会技術センター)

情報処理振興事業協会 (1990) 『計算機用日本語基本形容詞辞書 IPAL<Basic Adjectives>解説編』(平成2・7, 情報処理振興事業協会技術センター)

仁田義雄 (1990) 「日本語の形容詞文をめぐって」(寛寿雄教授還暦記念論集編集委員会編『ことばの饗宴うたげ』, 平成2・4, くろしお出版)

中村幸彦;日野龍夫 (1990) 『新編稀書複製会叢書13 浄瑠璃・説経節』(平成2・4, 臨川書店), 内容:十二段さうし

近藤明 (1987) 「『かねける』いとにくし」枕草子「三月ばかり物忌しにとて」段小考(『山形女子短期大学創立二十周年記念論集 女性 生活と文化』, 昭和62・3, 山形女子短期大学)

日比谷潤子 (1990) 「アクセントの変化と変異 2・3・4・5・6拍形容詞」(『sophia Linguistica』28, 平成2)

丹保健一 (1990) 「形状形容詞の語義分割をめぐって」(『国語学研究』30, 平成2・12)

日本語研究文献目録 1983～1996 (稿)

- 前柴博子 (1990) 「古代和歌における〈かなし〉の語史的研究」(『たまゆら』22, 平成2・10)
- 橋本博幸 (1990) 「平安和文作品におけるフビン(不便)とビンナシ(便無し)の意味」(『文芸研究』123, 平成2・1, 日本文芸研究会)
- 北村英子 (1990) 「『源氏物語』における「ゆかし」の考察〈4〉」(『樟蔭国文学』27, 平成2・3)
- 金子真理子 (1990) 「『蜻蛉日記』にみる「例の」「おなじ」の用法の違いについて」(『特集・やまと言葉と日本語教育』, 平成2・3)
- 上野靖 (1990) 「蕪村評語考「しほからし」と「眼前致景」」(『成城国文学』6, 平成2・3)
- 田村忠士 (1990) 『特集・やまと言葉と日本語教育—「あし」と「わろし」』(解釈36—3, 平成2・3)
- 東郷吉男 (1990) 『特集・やまと言葉と日本語教育—平安時代の, ミグルシ・ミニクシ, キキグルシ・キキニクシ』(解釈36—3, 平成2・3)
- 森本哲郎 (1990) 『日本語根ほり葉堀〈16〉「きたない」』(波24—11, 平成2・11)
- 松岡新児 (1990) 「〈ことば・言葉・コトバ〉「おもしろい」」(『放送研究と調査(NHK)』40—4, 平成2・4)
- 井上博嗣(1990) 「古代語における程度の示し方 形容詞としてのもの〈1〉」(『女子大國文』108, 平成2・12)
- 中川正美 (1990) 「八代集の形容詞 文体史との関わり」(『国語年誌』9, 平成2・11)
- 重見一行 (1990) 「中古形容詞連用修飾の変相」(『語文(大阪大学)』55, 平成2・11)
- 吉田光浩 (1990) 「主成分分析法による形容詞の活用分析 「枕草子」を資料として」(『大妻国文』21, 平成2・3)
- 内藤聡子 (1990) 「『源氏物語』における「つべし」「ぬべし」」(『愛知大学国文学』30, 平成2・7)

日本語研究文献目録 1983～1996 (稿)

入江美加 (1990) 「形容詞のかり活用について 西鶴の浮世草子を中心に」(『香椎潟』36, 平成2・10)

山崎恵 (1990) 「『醒睡笑』における「御座ない」と「おりない」の用法について」(『言語文化研究』8, 平成2・7, 東京外国語大学)

藤井俊博 (1990) 「「事限り無し」考」(『京都橘女子大学研究紀要』17, 平成2・12)

勝俣隆 (1990) 「枕草子二三七段の解釈について「つきづきしの(美)意識」を通して」(『長崎大学教育学部人文科学研究報告』40, 平成2・3)

由本陽子 (1990) 「日英対照複合形容詞の構造 「名詞+形容詞・形容動詞」の型について」(『言語文化研究(大阪大学)』16, 平成2・3)

池谷彰 (1990) 「形容詞の解釈 英語と日本語<1>,<2>」(『英語青年』136-3,4, 平成2・6,7)

八村伸一 (1990) 「日・英語の表現における比較研究<1> 形容詞・副詞句的表現における日・英語の比較」(『徳島文理大学比較文化研究所年報』7, 平成2・7)

(9) 『国語年鑑』 1992年版

松尾聡 (1991) おもしろの駒なりけりや, うつくしめでたき御宿世どもなど 中古の「おもしろし」「うつくし」の語彙 (同刊行会編 『山岸徳平先生記念論文集』, 平成3・5, 汲古書院)

杉本つとむ (1991) 『国語学と欄語学』(平成3・2, 武蔵野書院), 影印一「九品詞目」

古瀬順一 (1991) 『中世国語史資料としての「日蓮遺文」の研究』(平成3・10, 国書刊行会), 第3章2 消息文の形容詞語彙『源氏物語』『平家物語』『宇治拾遺物語』『増鏡』『義経記』との比較において, 第3章3 形容詞語彙

柳田征司 (1991) 『室町時代語資料による基本語詞の研究』(平成3・7, 武蔵野書院), 第4部大藏流狂言に見える, お礼のことば『有難い』と『忝い』について, 第5部虎明本狂言と虎寛本狂言との語彙の比較 困惑の気持を表わす感情語彙について

秋永一枝 (1991) 『古今和歌集声点本の研究 研究編 下』(平成3・1, 校倉書房)

日本語研究文献目録 1983～1996 (稿)

第2編 用言のアクセント, 7形容詞のアクセント

東郷吉男 (1991) 「平安時代のモノモノシ・コトコトシ 付, 試論モノ・コトの原義」(日本語語源研究会編『語源探求3』, 平成3・10, 明治書院)

藤田佐和子 (1991) 「「たのしい」と「うれしい」誘因と感情の時間的關係を視点として」(『金沢大学国語国文』16, 平成3・2)

清水由美 (1991) 「「きれい」と「いや」」(『言語文化と日本語教育』2, 平成3・12, お茶の水女子大学)

河内章 (1991) 「『枕草子』の「めでたし」の語について」(榎原邦彦編『解釈学』6, 平成3・11)

池田敬子 (1991) 「「心のほそき」考 恋と仏道」(『国語国文』60-9, 平成3・9, 京都大学)

馬淵敬子 (1991) 「紫の上の「つれなし」をめぐって」(『国文学研究』104, 平成3・6, 早稲田大学)

東辻保和 (1991) 「「もの」形容詞「もの」形容動詞に関する二章」(『三重大学日本語学文学』2, 平成3・6)

志立正知 (1991) 「覚一本『平家物語』の「あはれ」と「かなし」抒情的場面における評語から見た語り手の位置について」(『米沢国語国文』19, 平成3・4, 山形県立米沢女子短期大学)

案田順子 (1991) 「並木宗輔作品に見る「さもしい」「さもしさ」考」(『実践国文学』39, 平成3・3, 実践国文学会)

増井典夫 (1991) 「形容詞「えらい」の勢力拡大過程 近世にみる新語の普及と定着」(『淑徳国文』32, 平成3・2, 愛知淑徳短期大学)

松浦照子・片岡信二・安部清哉 (1991) 「平安文学における形容詞対照語彙表」(『フェリス女学院大学紀要』26, 平成3・3)

田上稔 (1991) 「「の」について「童のをかしき」中心に」(『国語国文(京都大学)平成3・1』)

日本語研究文献目録 1983～1996 (稿)

佐藤定義 (1991) 「形容詞に関する一考察」(『相模国文』18, 平成3・3, 相模女子大学)

平野尊識 (1991) 「発話と話者の主観的部分(再検討) 形容詞の意味と用法に関連して」
(『山口大学文学会志』42, 平成3・12)

金子弘 (1991) 「文末のタ止めとラシイ」(『日本語日本文学(創刊号)』1, 平成3・3, 創価大学)

吉田光浩(1991) 「平安期和文形容詞の活用と構文的性格についての一考察」(『大妻国文』, 平成3・3, 大妻女子大学)

井上博嗣 (1991) 「古代語に於ける程度の示し方 形容詞としてのもの(2)(3)(4)」
(『女子大國文』109, 110, 平成3・6, 12, 京都女子大学)

吉田光浩 (1991) 「栄花物語の形容詞の活用分析」(『日本文芸研究』43-2, 平成3・7, 関西学院大学)

篠崎晃一 (1991) 「千葉方言における動詞・形容詞の活用」(『人文学報』225平成3・1, 東京都立大学)

日比谷潤子(1991) 「形容詞アクセントの変化と変異 ランダムサンプリング調査の結果から」(『慶応義塾大学言語文化研究所紀要』23, 平成3・12)

八村伸一 (1991) 「日・英語の表現における比較研究(2) 形容詞・副詞・名詞句表現における日・英語の比較」(『徳島文理大学比較文化研究所年報』8, 平成3・7)

飛田良文, 浅田秀子 (1991) 「<新刊自己紹介>飛田良文・浅田秀子著「現代形容詞用法事典」」(『日本語学』10-9, 平成3・9, 明治書院)

丹保健一(1990) 「多義語における語義の配列について 形容詞語彙(性状)をめぐる(『三重大学教育学部研究紀要 人文・社会科学』41, 平成2・2)

小島俊夫 (1989) 「<「かねける」いとにくし> (枕草子「三月ばかり物いみしにとて」)の解釈をめぐる諸説について」(『奥羽大学文学部紀要』1, 平成1・12)

榎山有子 (1990) 「『源氏物語』の「きよし」「きよら」「きよげ」考」(『国語試論』4, 平成2・3, あいの会)

日本語研究文献目録 1983～1996 (稿)

楠見孝(1988)「共感覚に基づく形容表現の理解過程について 感覚形容語の通様相的集修飾 (『心理学研究』58-6, 昭和63)

外池俊幸(1989)「形容表現の段階性・非段階性」(『千葉商大紀要』27-1, 平成1・6)

(10)『国語年鑑』 1993年版

島田昌彦(1992)『新修日本語の再生 新国語学の模索』第10から13日本語の文法(2)花である形容詞と副詞(能登印刷出版部 平成4・10)

吉田則夫(1992)「身体についての研究 身体部位名称を含む動詞・形容詞・副詞」

井上博文(1992)「肥筑・豊日方言における方言類義補の地域性『きたない』を意味する形容詞を中心にして」(同刊行会編『国語学論集 小林芳規博士退官記念』平成4・3 汲古書院)

東弘子(1992)「感動形容詞述語文における感動主の人称制限 叙述の立場から」

榎山洋介(1992)「接頭辞『もの』を含む形容詞・形容動詞の意味分析」(田島毓堂;丹波一弥編『日本語論究3 現代日本語の研究<研究叢書122>』平成4・10 和泉書院)

細川秀雄(1992)「感動形容詞の一視点 万葉集に見える『かなし』の意味分析から」(同刊行会編『辻村敏樹教授古稀記念 日本語史の諸問題』平成4・3 明治書院)

望月郁子(1992)『類聚名義抄の文献学的研究』第2部 4 上昇調音節の平調化 語幹去声の形容詞を中心に(平成4・2, 笠間書院)

橋本行洋(1992)「“強(こは)し”と“強(つよ)し”『平家物語』諸本に見られる用事の意識の変化」(前田富祺編『国語文学史の研究1』平成4・9 和泉書院)

斎藤倫明(1992)『現代日本語の語構成論的研究 語における形と意味』<日本語研究叢書1-3>(平成4・3 ひつじ書房) 第2部 形容詞語幹をめぐる 1 形容詞語幹を前項とする複合名詞の意味 2 形容詞語幹から派生する動詞の意味 3 形容詞語幹を語基とする派生語の形態と意味「タカー(高)」の場合を例として

山崎馨(1992)『形容詞助動詞の研究<研究叢書107>』(平成4・2 和泉書院)

日本語研究文献目録 1983～1996 (稿)

神部宏泰 (1992) 『九州方言の表現論的研究<研究叢書108>』第6章 九州西部方言における形容詞法 (平成4・2 和泉書院)

名嘉真三成 (1992) 『琉球方言の古層』第三章 5 琉球方言の形容詞 6 琉球宮古方言の形容詞 7 形容詞活用の記述的研究 (平成4・12 第一書房)

丹保健一 (1992) 「多義語におかれう語義の区切り方をめぐって 数量, 実質, 刺激を表す形容詞の場合」(『三重大学教育学部研究紀要』人文・社会科学 平成4・3)

増井典夫 (1992) 「形容詞『まぶしい』の出自について 『マボソイ』→『マボシイ』→『マブシイ』」(『淑徳国文』平成4・2 愛知淑徳短期大学)

曾田文雄 (1992) 「語彙の転移 『あたらし』の場合」(『訓点后と訓点資料』訓点語学会 平成4・3)

村上雅美 (1992) 「『古事記』に現れる形容詞語彙の性格」(『文芸論叢』平成4・9 大谷大学)

北村和子 (1992) 「『源氏物語』における『ゆかし』の考察(5)」(『樟陰国文学』平成4・3 大阪樟陰女子大学)

中川正美 (1992) 「源氏物語の方法『こころうし』と『うし』の心情表現」(『梅花短期大学研究紀要』平成4・3)

大川五兵衛 (1992) 「『あをき』紙について」(『文学研究』平成4・1 聖徳短期大学)

染谷裕子 (1992) 「御伽草子の『いたはし』」(『調布日本文化』平成4・3)

大木一夫 (1992) 「『なごり』と『なごり+をし』 その意味と文体」(『東北大学文学部日本語学科論集』平成4・9)

近藤政美 (1992) 「天草版平家物語の形容詞の語彙およびその性格 平家物語<体系本>との比較を中心に」(『名古屋大学国語国文学』平成4・12)

池上誠司 (1992) 「宇治拾遺物語の表現機構 『あさまし』を中心として」(『日本文芸研究』平成4・7 関西学院大学)

中村宗彦 (1992) 「文選語の受容 あくせく・嵯峨し・仰々し」(『山辺道』平成4・3 天理

日本語研究文献目録 1983～1996 (稿)

大学)

藁科勝之 (1992) 「『雨月物語』のマコトの表記と意味 マコトおよびマコトニ, マコトシ」
 (『国語学 研究と資料16』平成4・12)

田島優 (1992) 「『勿体なし』・『勿体』考 『かたこと』を読む」 (『東海学園国語国文』平成
4・3 東海学園女子短期大学)

橋本三奈子; 青山文啓 (1992) 「形容詞の三つの用法 終止, 連体, 連用」 (『計量国語学』
平成4・6 計量国語学会)

武藤昭広 (1992) 「形容詞・形容動詞に接続する助動詞『つ』 『源氏物語』の用例から」
 (『語学と文学』平成4・3 九州女子大学)

鈴木一彦 (1992) 「形容詞の消長 『万葉集』から『新古今集』に至る (1)」 (『文学論藻<
東洋大学文学部紀要 国文学篇>』平成4・2)

山口幸洋 (1992) 「中距離遠隔分布の方言 形容詞方言における中部と西国の一致」 (『国語
学』平成4・3 国語学会)

佐山公一 (1992) 「<資料>言葉の“あや”の印象の分類 言語表現の心理的効果測定のため
の形容語尺度の選定」 (『教育心理学研究』平成4・6 日本教育心理学会)

沢田奈保子 (1992) 「名詞の指定制と形容詞の限定性, 描写性について 色彩名詞と色彩形
容詞の使い分け要因の分析から」 (『言語研究』平成4・10 日本言語学会)

(11) 『国語年鑑』 1994年版

間宮厚司 (1993) 「『おもろさうし』の形容詞について 日本古語との比較を通じて」 (鶴見
大学文学部編 『鶴見大学文学部論集創立30周年記念』, 平成5・3, 鶴見大学)

鈴木一彦 (1993) 「散文中の形容詞 上代から中古初頭に至る」 (松村明先生喜寿記念会編『国
語研究』, 平成5・10, 明治書院)

土屋博映 (1993) 「『枕草子』の『にくし』の価値, (同編集委員会編『小松英雄博士退官記
念日本語学論集』, 平成57, 三省堂)

日本語研究文献目録 1983～1996 (稿)

矢沢真人 いわゆる『形容詞移動』について (同編集委員会編『小松英雄博士退官記念日本語学論集』, 平成57, 三省堂)

愛宕八郎康隆 (1993) 長崎地方の2音節形容詞のイ語尾化現象について (同刊行会編『鶴久教授退官記念国語学論集』, 平成55, 桜楓社)

頼錦雀 (1993) 「日本語教育のための『竹取物語』における形容詞の研究」 (中松竹雄編著刊『日本語史の研究』, 平成57, 沖縄言語文化研究所)

杉本妙子 (1993) 「北部九州方言のカ語尾形容詞型の形容動詞」 (近代語学会編『近代語研究9』, 平成5・2, 武蔵野書院)

今津藤一 (1993) 『日本語と外国語の高低アクセントの構造』 (平成5・5, 近代文芸社), 第1部2形容詞活用形の深層アクセント形式

関一雄 (1993) 「上代中古の二, 三の接頭語の意味について 形容詞ク活用 シク活用の意味上の相違の問題と関連させて」 (『平安時代和文語の研究』 <笠間叢書259>, 平成510, 笠間書院)

大西拓一郎 (1993) 「三陸沿岸地域方言のアクセント語彙(2) 金田一語彙動詞形容詞」 (加藤正信代表編刊『東日本の音声 論文編3 主要都市多人数調査(札幌市名古屋市)報告』, 平成53)

下河部行輝 (1993) 『改正増補英語箋』 (住田文庫) 下巻の増補語彙と薩摩辞書言語類の中の形容詞部門について (『岡田大学文学部紀要』20, 平成512, 岡山大学)

川出才紀 (1993) 「基本形容詞のプロトタイプ構造」 (『信州大学教養部紀要 人文科学』27, 平成5・3, 信州大学)

飯田晴巳 (1993) 「『名語記』の形容詞認識 辞書と歌学・連歌学の形容詞認識の齟齬」 (『富士フェニックス論叢』1, 平成5・3)

橋本行洋 (1993) 「語義変化と漢字表記『太平記』諸本の『コハシ』『ツヨシ』を手がかりとする考察」 (『語文』61, 平成5.9, 大阪大学)

久島茂 (1993) 「日本語の量を表す形容詞の意味体系と量カテゴリーの普遍性」 (『言語研究』104, 平成5・9, 日本言語学会)

日本語研究文献目録 1983～1996 (稿)

- 東弘子(1993)「統辞的特徴による感情形容詞の意味記述」(『名古屋大学国語国文学』72, 平成5・7, 名古屋大学)
- 安部清哉;国語学ゼミ学生(1993)「中世軍記物語五作品の形容詞用例数語彙表」(『玉藻』29, 平成5・6, フェリス女学院大学)
- 土屋博映(1993)「『枕草子』の『すさまじ』の位置」(『跡見学園短期大学紀要』29, 平成5・1, 跡見学園短期大学)
- 志甫由紀恵(1993)「『落窪物語』における『ゆかし』の考察」(『大阪樟蔭女子大学論集』30, 平成5・3, 大阪樟蔭女子大学)
- 河内章(1993)「『源氏物語』の用語『なつかし』の用法と語意 ヒロインを対象にして」(榎原邦彦編『解釈学』10, 平成5・11)
- 北村英子(1993)「『源氏物語』における『ゆかし』の考察(6)」(『樟蔭国文学』30, 平成5・3, 大阪樟蔭女子大学)
- 清水彰(1993)「源氏物語の『なまめかし』『らうたし』『あて』」(『武庫川女学言語文化研究所年報』4, 平成5・3)
- 丹保健一(1993)「辞書に多義立項基準をめぐって 状態, 時間, 類型, 程度, 価値, 性向形容詞の場合」(『三重大学教育学部研究紀要人文・社会科学』44, 平成5・3, 三重大学)
- 中北美千子(1993)「形容詞・形容動詞『する』の結合について」(『国文目白』32, 平成5・2, 日本女子大学)
- 細川英雄(1993)「形容詞の主観性について対象内容による形容詞の分類とその位置づけ」(『早稲田日本語研究』1, 平成5・3)
- 鈴木一彦(1993)「形容詞の消長『万葉集』から『新古今』に至る(2)」(『文学論藻』67, 平成5・2, 東洋大学文学部紀要国文学篇)
- 吉見高尾(1993)「日本語の変遷——消えた形容詞・生まれた形容詞」(『言語』22-2, 平成5・2, 大修館書店)
- 吉田光浩(1993)「古代形容詞類型考察のための一視点」(『大妻女子大学紀要文系』25, 平成5・3, 大妻女子大学)

日本語研究文献目録 1983～1996 (稿)

山根木忠勝 (1993) 「『手枕』の形容詞・形容動詞本居宣長の文章」(『武庫川国文』41, 平成5・3, 武庫川女子大学)

日比谷潤子(1993)「形容詞アクセントの変化と変異 実時間における変化と現時点における変異」(『慶應義塾大学言語文化研究所紀要』25, 平成5・12, 慶應義塾大学)

井上博文 (1993) 「九州方言に於ける『おそろしい』を表す方言類義語の地域性エスカ・オトロシク・オジーを中心に」(『学大国文』36, 平成5・2, 大阪教育大学)

今西浩子 (1993) 「カ語尾形容詞の成立」(『国語年誌』12, 平成5・11, 神戸大学)

井上博文 (1993) 「方言形から共通語形へ『おそろしい』を表す方言類義語の場合」(『国語表現研究』6, 平成5・3, 国語表現研究会)

吉岡泰夫 (1993) 「おもしろーけん若者語イノベーション (9)ー (12)」最終回 (『言語』22・1ー4, 平成5・1ー4, 大修館書店)

大滝幸子 (1993) 「『人間を形容する形容詞の意義素記述』における日中対照研究」(『明海大学外国語学部論集』5, 平成5・3, 明海大学)

大島中正 (1992) 「国語辞書における形容詞の語釈の類型『例解新国語辞典 (第3版)』を調査資料として」(『同志社女子大学学術研究年報』43・4, 平成4・12, 同志社女子大学)

矢島正浩 (1992) 「近世浄瑠璃における形容詞文ナシ・ナイの表現性をめぐって」(『国語国文学報』50, 平成4・3, 愛知教育大学)

前田桂子 (1991) 「江戸噺本における形容詞の音便形と原形」(『筑紫語学研究』2, 平成3・12)

矢島正浩 (1992) 「近世浄瑠璃における形容詞文ナイ・ナシの表現性をめぐって」(『国語国文学報』50, 平成4・3, 愛知教育大学)

(12) 『国語年鑑』 1995年版

丹保健一 (1994) 形容詞多義語に見られる多義の意味分野について——形状, 位置, 実質を表す形容詞の場合を中心に—— (佐藤喜代治『国語研究4 現代語・方言の研究』, 平成6・2, 明治書院)

日本語研究文献目録 1983～1996 (稿)

福島直恭 (1994) 「語幹末にエ列音を持つ形容詞『あまねい』型の消滅と『あぶねえ』型の誕生」(同刊行会編『森野崇明教授退官記念論集 言語・文学・国語教育』, 平成6・10, 三省堂)

加藤安彦 (1994) 「国定読本における類義語の現われ方『うつくし』と『きれい』」(同刊行会編『研究報告集15<国立国語研究報告 107>』, 平成6・3, 非売)

土居裕美子 (1994) 「和漢混淆文における『ケハシ』『サガシ』の意味用法についての類義語の意味関係変化の一類型として」(同刊行会編『鎌倉時代語研究 17』, 平成6・5, 武蔵野書院)

佐藤武義 (1994) 「『黄なり』から『黄色い』へ」(佐藤喜代治編『国語論究5 中世語の研究』, 平成6・12, 明治書院)

江口正弘 (1994) 『天草版平家物語の語彙と語法<笠間叢書267>』(平成6・5, 笠間書院), 第3章形容詞について

宮島達夫 (1994) 『語彙論研究』(平成6・12, むぎ書房), 第3部名詞・形容詞の文体と意味, 第4部形容詞の語形と意味

沢田正子 蜻蛉日記の『かなし』の消長」(同刊行編『国語語彙史の研究14 根来司教授追悼号』, 平成6・8, 和泉書院)

村田菜穂子 「両活用形容詞からシク活用形容詞へ」(国語語彙史研究会編『国語語彙史の研究14 根来司教授追悼号』, 平成6・8, 和泉書院)

森岡建二 (1994) 『日本文法大系論』(平成6・7, 明治書院) 第2部6形容詞・状態詞

重見一行 (1994) 『助詞の構文機能研究<研究叢書153>』, (平成6・7, 和泉書院), 第1章, 4, 助詞「は・も」のかかわりに見る形容詞と助動詞の関係

国立国語研究所編 『方言文法全国地図3 第160図～第150図』(『国立国語研究所報告』97-3, 平成6・2, 大蔵省印刷局), 第3集(活用編II)は, 動詞・形容詞・形容動詞の活用に関する言語地図である

大木二郎 「『ユーモア』と『をかし』 パロディの笑いよ狂言の笑い」(同刊行編『人間と言葉 勇康雄先生喜寿記念 Man and Speech Act ; in Honor of IHL Director Yasuo Isami』, 平成6・9, リベール出版)

日本語研究文献目録 1983～1996 (稿)

服部隆(1994)「明治時代における形容詞・形容動詞論品詞の定義と語の認定法の観点から」
『福岡女学院大学紀要』4, 平成6・3)

久島茂(1994)「形を表す形容詞の意味体系」(『国語国文』63-4, 平成6・4, 京都大学)

榎山洋介(1994)「形容詞『カタイ』の多義構造」(『名古屋大学日本語・日本文化論集』2,
平成6・9)

丹保健一(1994)「現代日本語形容詞の多義構造形容詞多義語における第一義の条件(1)」
『三重大学教育学部研究紀要 人文・社会学科』45, 平成6・3)

戸田利彦(1994)「外来語における基礎的研究(2)『な』形容詞の語形を中心に」(『比
治山女子短期大学紀要』29, 平成6・3)

頼錦雀(1994)「日本人名における形容詞」(『東呉日本語教育』17, 平成6・7)

田中牧朗(1994)「上代におけるアヤニとアヤシについて」(『学苑』649, 平成6・1,
昭和女子大学)

保科恵(1994)「類義語彙語義考証稿『をこ』と『をこがまし』と」(『解釈』40-3,
平成6.3, 解釈学会)

北村英子(1994)「『源氏物語』における『ゆかし』の考察(8)」(『樟蔭国文学(大阪樟蔭
女子大学)』31, 平成6・3, 大阪樟蔭女子大学)

片岡信二・安部清哉(1994)「平安文学における形容詞(資料2・4)使用頻語彙表, 作品
共通語・作品特有後」(『フェリス女学院大学文学部紀要』29, 平成6・3)

間宮厚司(1994)「『おもろそうし』の文字(兼語彙)索引(3)(サ)行」(『鶴見大学紀要
国語国文学篇』31, 平成6.3)

樋口文彦(1994)「使用における形容詞の《義務性/偶発性》」(『教育国語』2-14, 平成
6.7, 教育科学研究会)

清水由美子(1994)「格助詞を受けた形で述語に係る形容詞」(『日本文学』82, 平成6.9,
東京女子大学)

小針浩樹(1994)「文類型の中での形容詞文の位置づけについて」(『国語学研究』33, 平

日本語研究文献目録 1983～1996 (稿)

成6.3, 東北大学)

山岡政紀 (1994) 「形容詞文の意味と知覚の主観性」(『日本語日本文学』4, 平成6.3)

中北美千子 (1994) 「形容詞移動をめぐる制約 連用の文における同義性の喪失・連用の文が不自然になる場合」(『日本女子大学大学院の会誌』13, 平成6・3)

森田富美子 (1994) 「連続された2形容詞の語順 調査報告」(『東海大学紀要 留学生教育センター』14, 平成6・3)

鈴木一彦 (1994) 「形容詞の消長 『万葉集』から『新古今集』に至る(3)」(『文学論藻<東洋大学文学部紀要 国文学篇>』68, 平成6・2)

吉田光浩 (1994) 「感情形容詞述語の関係成分について 源氏物語にみられる『うれし』の場合」(『大妻国文』25, 平成6・3, 大妻女子大学)

村田菜穂子 (1994) 「両活用形容詞『うたてし』について 平家物語を中心に」(『甲南国文』41, 平成6・3, 甲南女子大学)

近藤政美 (1994) 「天草版平家物語の形容詞の活用について 平家物語<大体系>との比較による計量的考案」(『説林』42, 平成6・2, 愛知県大学)

井上博文 (1994) 「九州方言に於ける『美しい』を表す形容詞の意味の地域性」(『学大国文』37, 平成6.1, 大阪教育大学)

斎藤達哉 (1994) 「『おもろそうし』の接辞『オモイ』」(『沖縄文化』29, 平成6.3, 沖縄文化協会)

渡辺義夫 (1994) 「小学校における名詞・動詞・形容詞 検定教科書文法批判」(『言文』42, 平成6・12, 福島大学)

山口薫 (1994) 「初級教科書における『イ形容詞』活用の扱い」(『台湾日本語文学報』6, 平成6)

皆島博 (1993) 「英語の形容詞の談話における限定用法と叙述用法 日本語との対照」(『言語学論叢』12, 平成5・12, 筑波大学)

大西拓一郎 『方言における活用の記述的研究——全国方言の動詞・形容詞・助動詞の活

日本語研究文献目録 1983～1996 (稿)

用——』(科学研究費報告書)

山田篤 『形容詞表現における空間イメージのモデル化と可視化に関する研究』(科学研究費報告)

(13) 『国語年鑑』 1996年版

吉田光浩(1995)「平安期形容詞の意味と終止用法について『枕草子』『源氏物語』『栄花物語』を資料として」(同刊行会編『宮地裕、敦子先生古稀記念論集 日本語の研究』, 平成7・11, 明治書院)

安部清哉; 森温子(1995)「J.C.へボン『和英語林集成』初版・再版・三版における形容詞語彙集<資料 近代における形容詞>」(同刊行会編『フェリス女学院大学国文学論叢日本文学科創設30周年記念』, 平成7・6, フェリス女学院大学)

柳田征司(1995)「東京方言における動詞・形容詞の活用形のアクセント」(鎌倉時代語研究会編『鎌倉時代語研究18 故佐々木峻氏追悼号』, 平成7・8, ひつじ書房)

蜂谷清人(1995)「狂言に見る形容詞『わわしい』と『かしましい』」(同刊行会編『日本近代語研究2』, 平成7・12, ひつじ書房)

黒羽栄司(1995)『現代日本語文法への12の提案 品詞論』(平成7・11, 大修館書店)

大西拓一郎(1995)『日本語方言活用の通時的な研究序説』(平成7・3, 国立国語研究所言語変化研究部第一研究室), 平成6年度文部省科学研究費奨励研究(A)「方言における活用の記述的研究—全国各地の動詞・形容詞・助動詞の活用—」報告書

名嘉真三成(1995)「西原方言の形容詞の意味論的研究(1)」(法政大学沖縄文化研究所編刊『琉球方言18, 19合併号 中本正智博士追悼号』, 平成7・2, 法政大学)

山下喜代(1995)「形容詞性接尾語『・・ぼい・・らしい・・くらい』について」(1995) (早稲田大学日本語研究教育センター編刊『講座日本語教育30』, 平成7・3)

金子弘(1995)「西洋人の日本語研究における品詞の整理」(『日本語日本文学』5, 平成7・3, 創価大学)

上野和昭(1995)「統合と類推 中世後期以降の京都における形容詞アクセント体系について

日本語研究文献目録 1983～1996 (稿)

ての一考案」(『早稲田大学日本語研究』3, 平成7・3, 早稲田大学)

大島中正(1995)「基本形容詞の語釈における意味特徴 国語辞書を比較するための一観点として」(『日本文学』7, 平成7・10, 同志社女子大学)

許羅莎(1995)「感情に関する類義語の研究 喜ぶ・喜ばしい・うれしい・楽しい・愉快的・おもしろい」(『東洋大学大学院紀要 文学研究科』31, 平成7・2, 東洋大学)

丹保健一(1995)「現代日本語形容詞の多義構造 形容詞における第一義の条件(2)」(『三重大学教育学部研究紀要 人文・社会科学』46, 平成7・3, 三重大学)

Kato, Shigehiro (1995) 「On the Semantic Features of Japanese Adjectives」(『東京大学言語学論集』14, 平成7・3, 東京大学)

齊藤倫明(1995)「・・語構成と意味 合形成容詞『～くさい』を例として考える」(『国文学 解釈と鑑賞』60-1, 平成7・1, 至文堂)

奥田久輝(1995)「続・『まがよふ』考(上)・『まぎらはし』『まがふ』と接尾語『よ・ふ』について」(『園田語文』9, 平成7・1, 園田学園)

熊谷由美子(1995)「源氏物語における『うらめし』について」(『愛知大学国文学』35, 平成7・11, 愛知大学)

田中牧郎(1995)「今昔物語集のオソロシとオソルについて(1), (2)・感情表現における形容詞と動詞・」(『学苑』662, 平成7・1, 2, 昭和女子大学)

佐藤雅代(1995)「八代集における『わびし』の消長」(『文芸研究』74, 平成7・9, 明治大学)

吉野知子(1995)「たはずがたりにおける心情語『憂し』について」(『和洋国文学研究』30, 平成7・3, 和洋女子大学)

安部清哉(1995)「軍記物語5作品の形容詞使用頻度順対照語彙表・資料 中世における形容詞2」(『フェリス女学院大学紀要』30, 平成7・3, フェリス女学院)

岡本隆雄(1995)「西鶴用語考(4)・『西鶴大矢数』における『漬し』とその同義, 類義表現」(『群馬県立女子大学国文学研究』15, 平成7・3, 群馬県立女子大学)

日本語研究文献目録 1983～1996 (稿)

案田順子 (1995) 「並木宗輔作品に見る『さもし』『あさまし』の用法(1)・『和田合戦女舞鶴』と『安部宗任松浦登』(『群馬女子短期大学国文学研究』22, 平成7・3, 群馬女子短期大学)

丹保健一 (1995) 「現代国語辞典に見られる語義配列の揺れ『新しい』『寂しい』の第一義をめぐって」(『文芸研究』138, 平成7・1, 日本文芸研究会)

樋口文彦 (1995) 「発話のなかでの形容詞の機能」(『教育国語』2-17, 平成7・4, 教育科学研究会)

樋口文彦 (1995) 「形容詞について」(『教育国語』2-18, 平成7・4, 教育科学研究会)

岩村恵子 (1995) 「ナシ(甚)型形容詞・否定性接尾語を有する形容詞の考案」(『語文』64, 平成7・9, 大阪大学)

山岡政紀 (1995) 「経験の帰属空間と形容詞文の諸問題(1)」(『日本語日本文学』5, 平成7・3, 創価大学)

朴海煥 (1995) 「[関係]を表す形容詞述語文の構造」(『早稲田日本語研究』3, 平成7・3, 早稲田大学)

宮島達夫 (1995) 「形容詞の名詞かざり」(『現代日本語研究』2, 平成7・3)

加藤浩司 (1995) 「古代語形容詞ク活・シク活考・万葉集和歌における用法上の差異に着目して」(『名古屋大学国語国文学』76, 平成7・5, 名古屋大学)

釘貫亨 (1995) 「古代日本語における形容詞造語法に関する一考案」(『名古屋大学文学部研究論集』41, 平成7・3, 名古屋大学)

吉田光浩 (1995) 「感情形容詞構文小考 『うれし』について」(『大妻国文』26, 平成7・3, 大妻女子大学)

村田菜穂子 (1995) 「両活用形容詞 重複形容詞との関連から」(『甲南国文』42, 平成7・3, 甲南女子大学)

飯間浩明 (1995) 「源氏物語の形容詞並列と意味類型との関係」(『国文学研究』115, 平成7・3, 早稲田大学)

日本語研究文献目録 1983～1996 (稿)

吉田茂晃 (1995) 「〔形容詞+ム〕型述語の諸相」(島根大学文学科編『島根大学法文学部紀要』23, 平成7・7, 島根大学)

ロング エリク (1995) 「古典文法への問題提起—<特集・『古典文法』の常識, 非常識> 形容詞と修飾・・・」(『国文学 解釈と鑑賞』60-1, 平成7・7, 至文堂)

近藤政美 (1995) 「天草版平家物語の文末語の計量的分析・・・ピリオド終止の場合の品詞, 活用形などと文の種類との相関性を中心にして」(『説林』43, 平成7・2, 愛知県立大学)

鈴木丹士郎 (1995) 「近世における形容詞補助活用の展開」(『専修国文』57, 平成7・8, 専修大学)

前田桂子 (1995) 「近世文芸作品におけるラシイについて」(『筑紫語学研究』6, 平成7・12)

細川英雄 (1995) 「現代日本語の敬語は・・・<新しい文法論と敬語> 形容詞・副詞の敬語法 評価性形容詞にふれて・・・」(『国文学』40-14, 平成7・12, 学燈社)

遠藤織枝; 谷部弘子 (1995) 「共同研究・職場における女性の話ことば その3・話ことばに特徴的な語の新しい用法と世代差 『すごく』『とか』『ぜんぜん』『けっこう』について」(『ことば』16, 平成7・12, 現代日本語研究会)

井上博文 (1995) 「若年層女性における形容詞『かわいい』の意味と記述」(『佐賀大國文』23, 平成7・2, 佐賀大学)

永瀬治郎 (1995) 「連載・キャンパスことば全国分布図 (9)～(12) 最終回 つまらない, 面白い, 一般教養科目, 別れの挨拶 (男性)」(『言語』24-1～4, 平成7・1～4, 大修館書店)

李麗桃 (1995) 「会話における『いい』について その否定的表現としての用法」(『実践国文学』48, 平成7・10, 実践国文学会)

表現学会編 (1995) 「日本語テキストに現れる形容詞とその仏訳の問題・・・感動形容詞から形容詞分まで」(『表現研究』62, 平成7・9)

吉村逸正 (1994) 「『形容詞連用形思ふ』と『形容詞終止形と思ふ』」(『国語研究』, 平成6・6, 国学院大学)

日本語研究文献目録 1983～1996 (稿)

近藤雅美・浜千代いずみ (1995) 『天草版平家物語の形容詞の語彙の物色・・・平家物語, 源氏物語と比較して』 (平成7, 解釈学会)

村田菜穂子 (1995) 『虎明本狂言集のフカシイとフカイ』 (近代語研究会編, 平成7ひつじ書房)

岩野靖則 (1995) 「ヌルイをめぐる温感表現について」 (同刊行会編 『宮地裕, 敦子先生古稀記念論集 日本語の研究』, 平成7・11, 明治書院)

頼錦雀 (1995) 「形容詞文・・・台湾の日本語教育的見地から」 (『東呉 日本語教育』18, 平成7・8)

(14) 『国語年鑑』 1997年版

名嘉真三成 (1996) 「次元形容詞の意味論的研究」 (あけもどろの会編 『ことば 生活 教育』 平成5・3ルック)

名嘉真三成 (1996) 「温度形容詞の意味論的研究」 (平山輝男博士米寿記念会編 『日本語研究諸領域の視点上』 平成5・10明治書院)

秋元美晴 (1996) 「形容詞の装定用法と述定用法」 (同記念会編 『林巨樹先生古希記念会甲戌論集』 平成5・6 武蔵野書院)

樋口文彦 (1996) 「形容詞の分類 状態形容詞と質形容詞」 (言語学研究会編 『*ことばの科学』 7 平成5・10 むぎ書房)

釘貫亨 (1996) 古代日本語の形態変化 5 古代語における形容詞造語法 (『研究叢書』193 平成5・10和泉書院)

平沢洋一 (1996) 「日本語語彙の研究 2 評価的感情的意味」 (平成5・10武蔵野書院)

大阪外国語大学外国語学部国際文化学科日本語講座 (1996) 「*動詞形容詞・副詞用例集 日本語上級作文教材開発のための文型語法に関する基礎研究」 (『動詞形容詞副詞用例データベースの作成』 平成7年度大学改革推進等経費 (カリキュラム改革調査研究費) 報告書平成5・3)

日本語研究文献目録 1983～1996 (稿)

中川正美 (1996) 「『うし』表現の諸相 文体論の観点から」(国語語彙史研究会編『国語語彙史の研究16坂倉篤義博士追悼号』平成5・10和泉書院)

山内洋一郎 (1996) 「『ずちなくて』と『すべなくて』」(『和泉選書』102『野飼いの駒語彙論集 第2章 古語の再生3』平成5・5和泉書院)

東中川かほる；東雲裕子 (1996) 独りで学べる日本語文法 第2章品詞2 形容詞 (『インターシップ・プログラムス』平成5・5凡人社)

岡野弘彦ほか解題 (1996) 「形容詞の論」(折口信夫全集刊行会編『折口信夫全集』12『言語情調論・副詞表情の発生 (言語論)』平成5・3中央公論社)

影山太郎 (1996) 「*動詞意味論 3 完了形容詞 結果状態の取り立て」(『日英対照研究シリーズ』5 平成5・10くろしお出版)

大岡玲 (1996) 「食味形容語辞典」(平成5・4平凡社)

現代言語セミナー編 (1996) 「気持ちを伝えることば辞典 喜怒哀楽を確かに伝えるこの一言」(平成5・4実務教育出版)

海治美香 (1996) 「『しかたがない』の意味 多義語の意味構造」(『東京都立大学日本語研究』16 平成5・4)

大槻美智子 (1996) 意味からみた語構成 (1) 形容詞と動詞の交渉 (『大谷女子大國文』26 平成5・3)

勝田耕起 (1996) 「派生語〈～ガル〉の類型と〈～ブル〉への交替」(『東北大学日本語学科論集』6 平成5・9)

吉田光浩 (1996) 「『仮定条件句+うれし』の表現性について」(『大妻女子大学大妻国文』27 平成5・3)

田中牧郎 (1996) 「『惜し』の意味記述『万葉集』を資料として」(『昭和女子大学学苑』672 平成5・1)

内藤聡子 (1996) 「『源氏物語』における『いまめかし』について」(『愛知大学国文学』36 平成5・10)

日本語研究文献目録 1983～1996 (稿)

三宅清 (1996) 「『いといたく』という表現について『源氏物語』を中心として」(『岡山大学国語研究』10 平成5・3)

久保井龍二(1996)「形容詞の意味の変化について」(『埼玉大学国語教育論叢』1 平成5・11)

阿久決忠(1996)「朝顔の巻『かしこくも古りたまえるかな』 『源氏物語』の『かしこく』」(『湘南短大紀要』7 平成5・3)

安部清哉(1996)「八代集における形容詞使用頻度順対照語彙表〈平安文学における形容詞資料VI〉」(『フェリス女学院大学文学部紀要』31 平成5・3)

安部清哉(1996)「八代集における形容詞対照語彙表 平安文学における形容詞資料V」(『フェリス女学院大学玉藻』31 平成5・3)

琴智恵(1996)「『やさし』の意味の変遷 古代より中世前期まで」(『奈良教育大学国文 研究と教育』19 平成5・3)

松本典子(1996)「紫上をめぐる『ありがたし』について 発病にいたるまでの階梯を理解するために」(『平安朝文学研究』平成5・12)

林田昭子(1996)「『にくし』『かたし』に関する一考察」(『山口大学山口国文』19 平成5・3)

三枝令子(1996)「『小さな旅』と『小さい旅』」(『一橋大学言語文化』33 平成5・3)

朴海煥(1996)「形容詞文における助詞『と、から、で』の用法」(『早稲田大学国文学研究』119 平成5・2)

朴海煥(1996)「形容詞文における助詞『に』の用法」(『早稲田大学大学院文学研究科紀要』41 平成5・2)

浅山友貴(1996)「形容詞述語文におけるアスペクト的研究」(『東京外国語大学大学院言語：地域文化研究』2 平成5・3)

佐藤雄一(1996)品詞とは何か 品詞各論 補助的な品詞から、同音形式多機能形式 〈『国文学 解釈と鑑賞』平成5・1至文堂)

日本語研究文献目録 1983～1996 (稿)

高橋太郎 (1996) 「品詞とは何か 品詞の諸側面 品詞の構成」(『国文学 解釈と鑑賞』平成5・1 至文堂)

村木新次郎 (1996) 品詞とは何か 品詞の諸側面 意味と品詞分類(『国文学 解釈と鑑賞』平成5・1 至文堂)

山口光 (1996) 「品詞とは何か 品詞の諸側面『境遇性』と品詞」(『国文学 解釈と鑑賞』平成5・1 至文堂)

高瀬匡雄(1996) 「品詞とは何か 品詞各論 用言と動詞」(『国文学 解釈と鑑賞』平成5・1 至文堂)

清水由美子 (1996) 形容詞連用形による連用修飾 (『文字語学』15 平成5・6 全国大学国語国文学会)

市来ちさ (1996) 「『源氏物語』における形容詞ウ音便の使用状況について」(『愛知淑徳大学国語国文』19 平成5・3)

飯間浩明 (1996) 「『夜の寝覚』における形容詞の並立」(『早稲田日本語研究』4 平成5・3)

鈴木丹士郎 (1996) 「近世における形容詞補助活動の展開 (承前)」(『専修大学専修国文』58 平成5・1)

江端義夫 (1996) 「少年層の言語地図から始まる時勢語『ガメツイ』等の方言分布について。Socio Dialect Geography or Complex Dialect Geography or Dynamic Dialect Geography」(『日本語学』15-8 平成5・7 明治書院)

金田章宏(1996) 「品詞とは何か 品詞各論, 感情感覚における局面のとらえかた 八丈島三根地方を例に」(『国文学 解釈と鑑賞』61-1 平成5・1 至文堂)

田中宣広 (1996) 「動詞形容詞接続の付属語アクセントの記述 信州大町方言を例として」(『都大論究』33 平成5・6)

ワタナベサトシ (1996) 「ニホンゴノブンポー『ヒンシ』オミナオス」(『カナノヒカリ』854 平成5・5 カナモジカイ)

丹保健一(1996) 「初級形容詞における第一義と使用頻度をめぐって」(『三重大学教育学部

日本語研究文献目録 1983～1996 (稿)

研究紀要 人文社会科学』47 平成5・3)

山口巖(1996)「特集品詞とは何か 品詞各論 言語類型学と品詞 形容詞のあつかいを中心に」(『国文学 解釈と鑑賞』61-1 平成5・1至文堂)

山田小枝(1996)「特集品詞とは何か 品詞の普遍性と特殊性 ヨーロッパ言語の研究から」(『国文学 解釈と鑑賞』61-1 平成5・1至文堂)

菅野裕臣(1996)「特集;品詞とは何か 諸言語の品詞 日本語との対照へとすすむ第一歩として 朝鮮語」(『国文学 解釈と鑑賞』61-1 平成5・1至文堂)

竹内和夫(1996)「特集;品詞とは何か 諸言語の品詞 日本語との対照へと進む第一歩として トルコ諸語の品詞」(『国文学 解釈と鑑賞』61-1 平成5・1至文堂)

相原茂(1996)「特集;品詞とは何か 諸言語の品詞 日本語との対照へと進む第一歩として 中国語の品詞分類」(『国文学 解釈と鑑賞』61-1 平成5・1至文堂)

田尻英三(1996)「特集;品詞とは何か 諸言語の品詞 日本語との対照へと進む第一歩として インドネシアの品詞 日本語との対照」(『国文学 解釈と鑑賞』61-1 平成5・1至文堂)

下宮忠雄(1996)「特集;品詞とは何か 諸言語の品詞 日本語への対照へと進む第一歩として カフカス語」(『国文学 解釈と鑑賞』61-1 平成5・1至文堂)

湯川恭敏(1996)「特集;品詞とは何か 諸言語の品詞 日本語への対照へと進む第一歩として バンドゥ諸語の品詞」(『国文学 解釈と鑑賞』61-1 平成5・1至文堂)

青木晴夫(1996)「特集;品詞とは何か 諸言語の品詞 日本語への対照へと進む第一歩として アメリカインデアン諸語」(『国文学 解釈と鑑賞』61-1 平成5・1至文堂)

晋栄和(1995)「現代語彙語形容詞の語構造について『転成』との関連をめぐって」(『東北大学文学部日本語学科論集』5 平成4・9)

北村英子(1994)「『源氏物語』における『ゆかし』の考察(7)」(『大阪樟蔭女子大学論集』31 平成3・3)